



証券コード: 7963

# 平成27年12月期 第2四半期決算説明資料



クリーン、ヘルス、セーフティで社会に  
 **興研株式会社**

# 平成27年12月期 第2四半期決算概要

## 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間(平成27年1月～6月)におけるわが国経済は、企業収益の回復によって国内の設備投資の増加や雇用・所得環境が改善するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら円安等を要因とする物価の上昇による実質賃金の伸び悩み、また海外経済の下振れリスク等の懸念材料もあることから、先行きは不透明な状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループは業容の発展・拡大及び収益構造の改善に向け、今期の重要課題である「クリーン事業の確立」「マスク関連事業の強化」に取り組んでおり、売上高は期初計画を上回る37億30百万円(前年同四半期比6.1%増)で推移しております。

利益につきましては、2つの重要課題への取り組みによって、オープンクリーンシステム「KOACH」とマスクの販売が伸びて売上総利益率が高まり、営業利益2億45百万円(同76.7%増)、経常利益2億12百万円(同105.3%増)、四半期純利益88百万円(同194.2%増)となり、それぞれ前年同四半期実績及び期初計画を大きく上回りました。セグメント別の業績は以下の通りです。

### (マスク関連事業)

当社の主要顧客である製造業の国内設備投資の拡大に伴い、産業用の防じん・防毒マスクの販売は堅調に推移しました。それに加え電動ファン付き呼吸用保護具の国家検定化に対応して年初より市場投入したBLシリーズはその安全性や使いやすさが高く評価され、順調に売上を伸ばしております。

その結果、当事業の売上高は、32億80百万円(前年同四半期比5.0%増)となりました。なお、使い捨て式防じんマスク「ハイラック」シリーズの産業・医療両分野における販売拡大に対応するために設立した海外生産子会社SIAM KOKENは、この6月より生産を開始しております。

### (その他事業／環境関連事業等を含む)

クリーン事業では昨年駆け込み受注のあったプッシュプル型換気装置が反動減となった一方で、オープンクリーンシステム「KOACH」の販売は前年同四半期に比べ75%増加し、事業全体としては4億50百万円(前年同四半期比14.7%増)となりました。

今年に入り「KOACH」は、大型物件として国家プロジェクト大型低温重力波望遠鏡(KAGRA)施設のほか、これまでの業種とは異なる大手自動車・工作機械・重機メーカー等へ納入するなど、その採用先には拡がりが見られ、研究、製造両分野からのリピート受注も増加しています。

「KOACH」は引合い物件情報数2,300件に対し、受注数が極めて低い状況が続けてきましたが、今期ようやくその雌伏期を脱して立ち上がり期に入った感がある状況となりつつあります。

## 業績の概要

(単位:百万円/端数切り捨て)

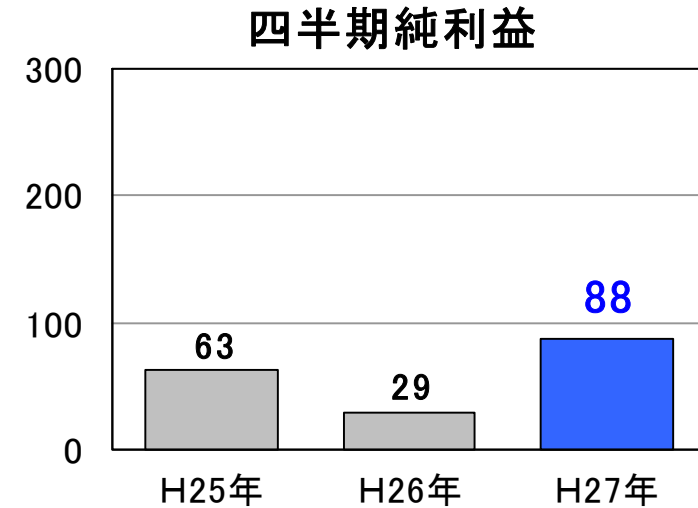
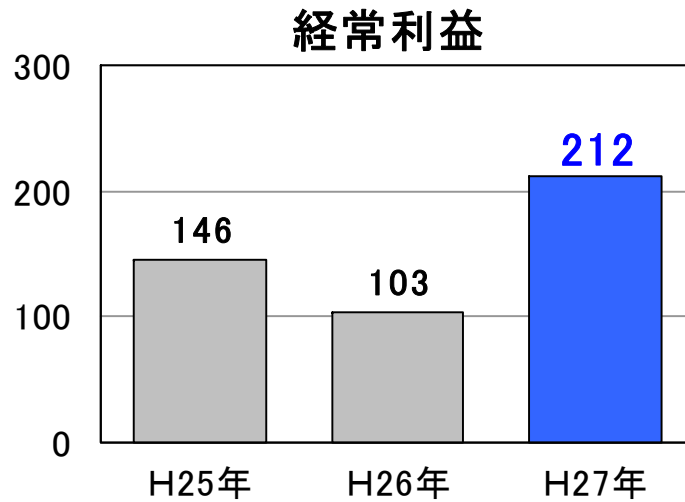
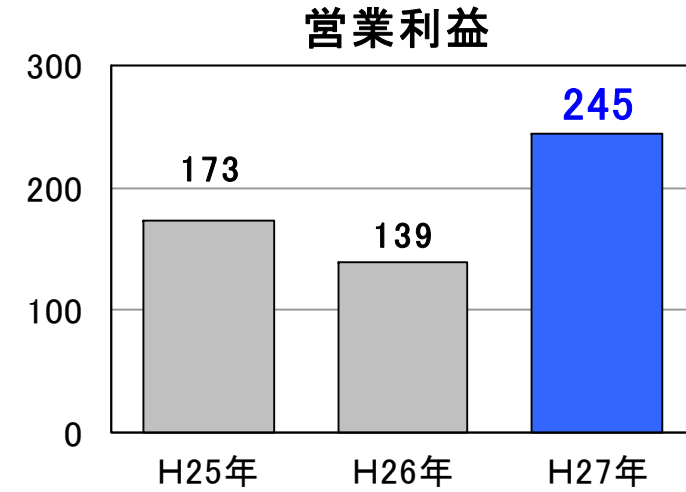
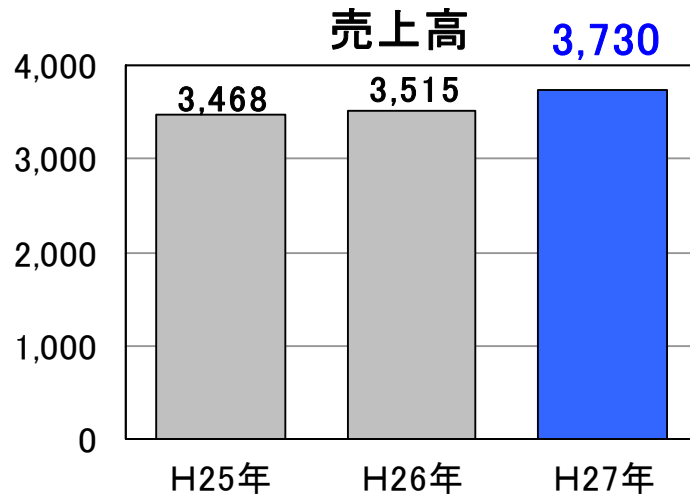
	平成26年12月期 第2四半期		平成27年12月期 第2四半期	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)
売上高	3,515	100.0	<b>3,730</b>	100.0
売上総利益	1,608	45.8	<b>1,742</b>	46.7
営業利益	139	4.0	<b>245</b>	6.6
経常利益	103	2.9	<b>212</b>	5.7
四半期純利益	29	0.9	<b>88</b>	2.4
1株当たり四半期純利益(円)	5.93	—	<b>17.38</b>	—

	平成27年12月末	平成27年6月末
総資産	15,552	<b>16,403</b>
負債	6,777	<b>7,608</b>
純資産	8,775	<b>8,795</b>
自己資本比率(%)	56.1	<b>53.2</b>
1株当たり純資産(円)	1,720.40	<b>1,720.71</b>

# 売上高・利益の推移

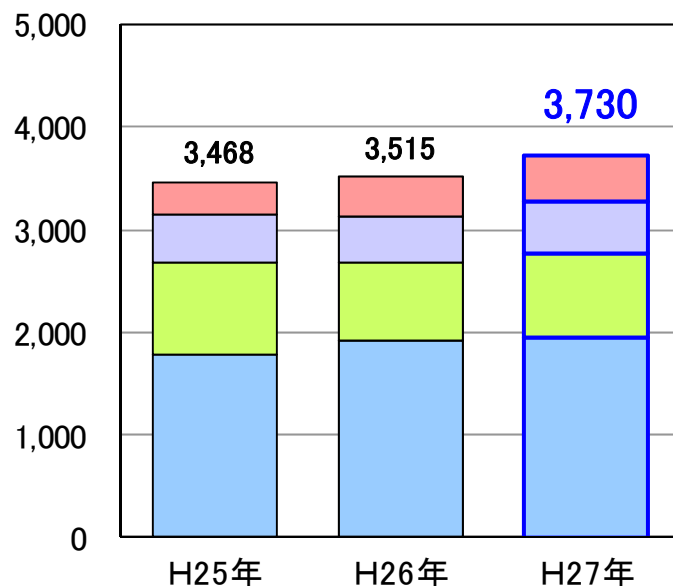
(単位:百万円/端数切り捨て)



※平成26年12月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成し、連結ベースの開示を行っております。

# セグメント別売上高の推移

(単位:百万円/端数切り捨て)



**事業の状況**

マスク関連事業(防じんマスク、防毒マスク、マスク関連その他製品)  
 主要顧客である製造業の国内設備投資の拡大に伴い、産業用の防じん・防毒マスクの販売は堅調に推移しました。それに加え電動ファン付き呼吸用保護具の国家検定化に対応して年初より市場投入したBLシリーズはその安全性や使いやすさが高く評価され、順調に売上を伸ばしております。

その他事業(環境関連事業等を含む)  
 オープンクリーンシステム「KOACH」は、国家プロジェクト大型低温重力波望遠鏡(KAGRA)施設のほか、大手自動車・工作機械・重機メーカー等へ納入するなど、その採用先には拡がりが見られ、研究、製造両分野からのリピート受注も増えました。その結果、「KOACH」の売上高は対前年同四半期比75%増となりました。

品目区分	平成25年		平成26年		平成27年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
防じんマスク	1,788	51.6%	1,914	54.4%	1,938	51.9%
防毒マスク	888	25.6%	761	21.7%	824	22.1%
マスク関連その他製品	478	13.8%	446	12.7%	517	13.9%
小計	3,154	91.0%	3,122	88.8%	3,280	87.9%
その他	313	9.0%	392	11.2%	450	12.1%
合計	3,468	100.0%	3,515	100.0%	3,730	100.0%

※品目別売上高につきましては、子会社による販売がないため、親会社のみの数値を掲載しております。

## トピックス

### ◇「KOACH」が「優秀省エネルギー機器」、「レジリエンスアワード」を相次ぎ受賞

スーパークリーンシステム「KOACH」が、昨年の機械工業デザイン賞で最優秀賞（経済産業大臣賞）に続き、「優秀省エネルギー機器表彰」日本機械工業連合会会長賞と「ジャパン・レジリエンス・アワード2015」ものづくり分野最優秀賞を受賞しました。これらの受賞により「KOACH」の独創性、革新性、デザイン性に加え、省エネルギー性、レジリエンス性がクリーン市場においてさらに広く周知され、成約件数、成約率のアップを後押ししてくれるものと期待しております。



優秀省エネルギー機器

#### 「優秀省エネルギー機器表彰 日本機械工業連合会会長賞」

既存クリーンルームと比較すると約1/3の消費電力、スリープモード時は約1/10という省エネルギー性が高く評価されての受賞



#### 「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2015 ものづくり分野 最優秀レジリエンス賞」

地震に強い、設置期間が短いといった国土強靱化のための防災・減災への効果大と評価されての受賞

## ◇「ブレスリンクブLOWER」5シリーズを発売

電動ファン付き呼吸用保護具が平成26年12月からの国家検定化となったことから、当社ではブレスリンクブLOWER 5シリーズ(13機種)の発売をいたしました。

当社の電動ファン付き呼吸用保護具「ブレスリンクブLOWER」シリーズは、かねてよりその安全性、快適性、使いやすさなどが高く評価されております。

今回の国家検定化及び新機種の投入によって、より多くの市場に普及し、当社のマスク関連事業の業績向上への寄与が期待されます。



BL-300シリーズ



BL-700シリーズ



BL-1005シリーズ



BL-200シリーズ



BL-100シリーズ

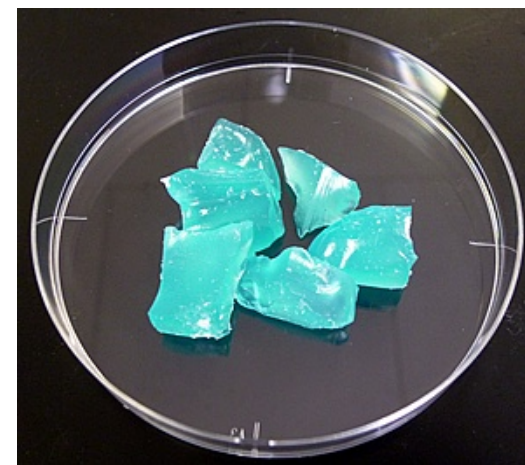


## ◇新抗菌剤「イマディーズ™」を開発

当社は、「銅」と「乳酸」を独自の製法で反応させることにより、高い抗菌作用、防カビ性、抗ウイルス性を持ち合わせながら、生体安全性が高く、環境にも優しい抗菌剤「イマディーズ™」を開発しました。

当抗菌剤は、ゲル状の個体で、繊維・ゴム・プラスチック等への塗布・含浸などによるコーティングや原材料への練り込み・溶かし込みによるブレンドなど、加工性が非常に高いという特長を持っています。

今後は、抗菌性能を付加したマスクや保護衣など、感染対策・パンデミック対策製品への応用や医療機器・その他抗菌製品の開発を進めるほか、抗菌材料としての外販及び提携、ライセンス等も視野に入れた事業展開を図り、当社事業のヘルス分野での大きな柱に育てて参ります。

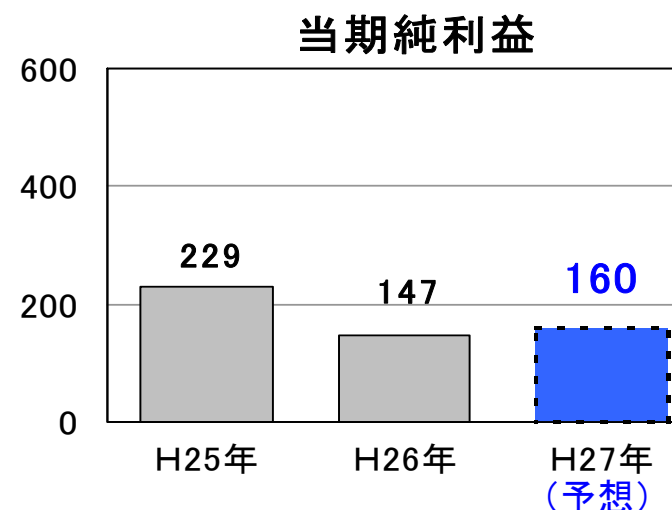
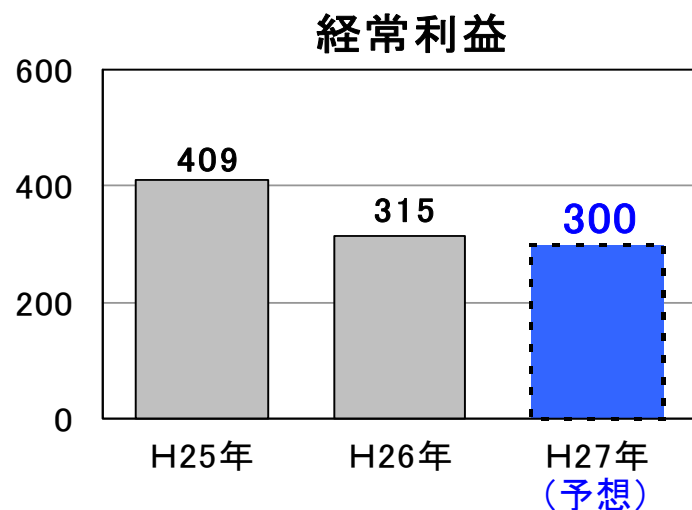
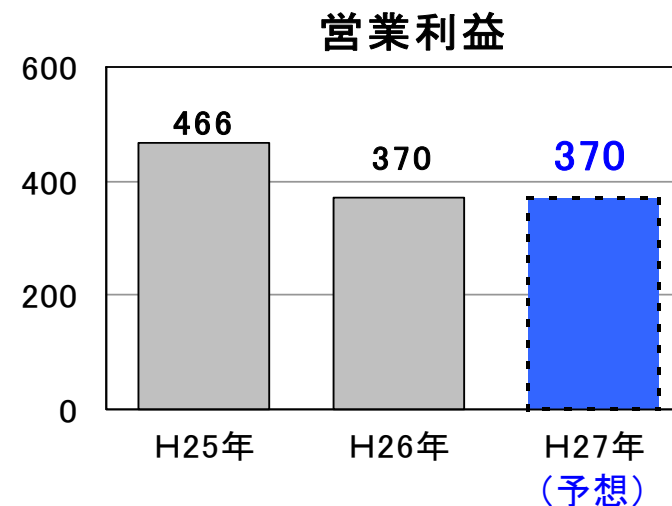
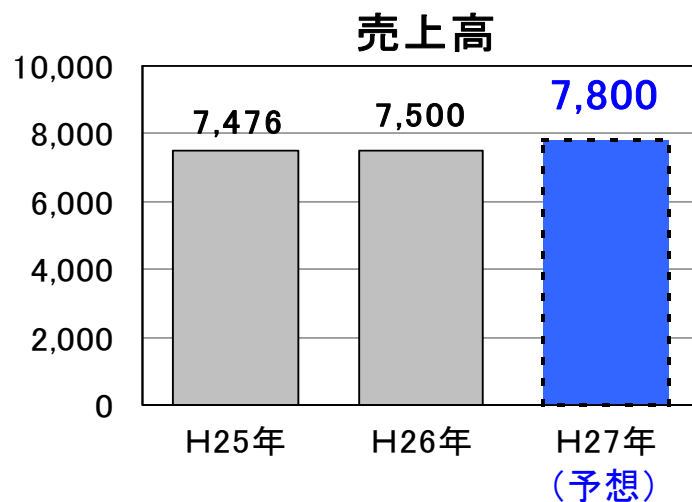


# 平成27年12月期の業績予想

# 連結業績予想

※平成26年12月期より、連結決算に移行しております。

(単位:百万円/端数切り捨て)



平成27年12月期第2四半期(累計)連結予想については、平成27年8月4日に修正を公表いたしましたが、通期連結業績予想につきましては不確定要素が多いことから、平成27年2月13日に公表いたしました予想数値からの修正は行っておりません。今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

本資料に記載されている業績予想数値等の将来に関する記述は、「平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」発表日(平成27年8月7日)現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 本資料に関するお問い合わせ先

興研株式会社  
広報・IR室

TEL 03-5276-1932  
FAX 03-5276-6530  
Eメール [ir@koken-ltd.co.jp](mailto:ir@koken-ltd.co.jp)  
ホームページ <http://www.koken-ltd.co.jp/>